

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

<b>1 前年度 評価結果の概要</b>	<p>・最終評価はおおむね「A：十分達成できている」との達成度（評価）であった。今年度新たに設けられた●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と●「将来の夢や目標を持っている」について「B：おおむね達成できている」だったので、次年度はさらに児童に伝わるような言葉かけや、将来への展望をもたせる意識付けや指導が必要である。</p> <p>・今年度は教育委員会の目標に準じて、昨年度よりもより積極的にICTを活用することができ、児童・教員ともに活用スキルが向上した。また、離島の学校と交流することもできた。</p> <p>・今年度も、地域の方の協力を得て多くの体験活動を実施することができた。島の活性化の一助となるよう、今後も、高島ならではの特色ある学校づくりを推進していく。</p>
----------------------	---

<b>2 学校教育目標</b>	<b>学びに熱中する子どもを育てるチーム高島 ～子どもに「ひとり立ちできる基礎力」をつける～</b>
-----------------	--

<b>3 本年度の重点目標</b>	<p>①一人一人が自分のよさや可能性を発揮し、自信や意欲を高められる学校</p> <p>②家庭や地域と連携・協働し、郷土愛を育む学校</p> <p>③教育環境が整った、誰もが安心して学べる学校</p>
-------------------	--

<b>4 重点取組内容・成果指標</b>	<b>中間評価</b>	<b>5 最終評価</b>
----------------------	-------------	---------------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標（数値目標）							
●学力の向上	○表現力の育成・言語活動の充実 ○全職員による共通理解と共通実践	○アンケートで「授業内での話す・書く等の言語活動を行った」と回答した児童を70%以上 ○学力向上対策評価シートを基に作成したマイプランの成果指標を達成した教師75%以上	・表現力を育成するために、表現の場を毎日1回以上設ける。 ・教師間でマイプランを共有するとともに、校内研修で取組んだり、学期ごとに内容の情報交換を行ったりする。	A	・アンケートで「授業内での話す・書く等の言語活動を行った」と回答した児童を約90%だった。 ・学力向上対策評価シートを基に作成したマイプランの成果指標を達成した教師が100%だった。	A	・アンケートで「授業内での話す・書く等の言語活動を行った」と回答した児童を100%だった。 ・学力向上対策評価シートを基に作成したマイプランの成果指標を達成した教師が100%だった。	A	・少人数のため、児童がよく理解できていると思う。 ・先生方が工夫して授業をされている。
●心の教育	●児童生徒が自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○アンケートで「自分が大切だ、他の人も大切だと認めている」児童70%以上	・全校朝会で、自分や相手が頑張っていることや他の人の大切さを認めている人がいること称賛する。	A	・アンケートで、「自分も他の人も大切だと思う。」と回答した児童は約89%だった。 ・当初目標に掲げていた70%以上を達成している。	A	・アンケートで、「自分も他の人も大切だ」と回答した児童は、100%で当初の成果目標である70%を達成した。 ・週に一回をめぐりに給食時間に良い言動をした児童を対象にいいねの表彰を行った。その結果、児童のやる気upに繋がった。	A	・いいねの木の取組などで、優しい心が育っていると思う。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ○児童相互が望ましい関係づくりを構築する。 ○児童が安全に学校生活を送る	○なかよしアンケートの5.6項目について肯定的な回答をした児童が80%以上になるようにする。	・全校で「ほかほか言葉」を使うように声かけをする。 ・教職員の情報共有を密にし、児童の悩みや困り感の解決に繋げる。 ・いじめ防止対策として、定期的に教職員の研修を開き、いじめの未然防止に努める。 ・道徳科を中心に、いじめや差別をなくす授業に取組む。	B	・なかよしアンケートの5.6項目で肯定的な回答をした児童は83%だった。目標の80%以上を達成した。	A	・なかよしアンケートの5.6項目で肯定的な回答をした児童は82%で目標の80%を達成した。 ・なかよしアンケートを月に一度実施することで、児童の困り感をいち早く確認でき、教師間での共有ができた。	A	・島の中でも仲良く遊んでいる。
	●児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童70%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について自分なりの考えをもっている児童70%以上	・日頃から児童一人一人の寄り添い、良いところを褒める。 ・将来の夢や目標をもつことの大切さについて語ったり、道徳教材で扱ったりする。	B	・毎月実施している「なかよしアンケート」の「自分がやってみたいことがある」の項目において、肯定的な回答をした児童が78%。 ・校内に「いいねの木」を掲示したり、各学年において自己評価・他者評価する機会を設けたりして、積極的にそれぞれの活躍やがんばりを認めている。 ・今後、キャリア教育として「Edu Townあしたね」などを利用していききたい。	A	・毎月実施している「仲良しアンケート」の「自分がやってみたいことがある」の項目において、前回と同じく78%の児童が肯定的な考えをもつことができています。 ・「Edu Townあしたね」を使って、自分たちのなりたい職業について調べ、将来についての希望をもてるようになった。	A	・夢をもって生活してほしい。
●健康・体づくり	●「健康を考えて行動できる能力の育成」	●「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた児童70%以上	・学期に1度の発育測定、学校三師による保健指導、保健日よりなどにより情報を発信する。	A	・アンケートで「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた児童が約90%で達成している。	A	・アンケートで「健康は何より大切だ」「保健で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた児童が100%で達成している。	A	・元気に遊んでいる様子が見られる。
	○望ましい生活習慣の形成	○早寝・早起きを意識して実行できる児童を70%以上にする。 ○積極的に体を動かそうとしている児童を70%以上にする。	・「生活リズムチェック」を活用し、睡眠に関する意識調査を実施する。 ・週に1度は20分休み、ジョギングや縄跳び等の運動をする時間を設け、全校で体づくりに取り組む。 ・月に1度は全校レクの時間を設け、体を動かして遊ぶ楽しさを実感できるようにする。	A	・アンケートで「早寝、早起きを意識して、健康な体づくりのために進んで体を動かしている」児童が70%以上で達成している。	A	・アンケートで「早寝、早起きを意識して、健康な体づくりのために進んで体を動かしている」児童が100%で達成している。	A	・4月当初と比べて、挨拶や返事が上手になってきた。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・月の時間外在校等時間が45時間を越える職員の割合10% ・各教育活動の目的を再確認し、カリキュラム編成を検討する。データを共有し、次年度以降に利活用していく。	A	・在校等時間で45時間を越える職員は0人で、目標達成している。	A	・在校等時間で45時間を越える職員は0人で、目標達成している。カリキュラム編成とデータの共有化により、次年度は更なる改善に繋げていく。	A	・限られた時間の中でよくやってもらっている。
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上したと回答した教員70%以上	・特別支援教育に関する研修会の実施 ・ケース会議の開催、関係者間での情報共有	B	・授業においては、特別支援的な配慮がなされていると感じている児童・保護者が95%。 ・特別支援教育に関する教員の専門性の向上したと感じている教員は67%。このことより、教員に向けての研修を月に2回程度実施し、専門性の向上を図っていく。	A	・授業においては、特別支援的な配慮がなされていると感じている児童・保護者が100%。 ・特別支援教育に関する教育の専門性の向上したと感じている教員は100%。	A	・個に応じた指導をしてもらっている。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標（数値目標）							
○校内研究の推進	◎高島学を通して、高島を愛する児童の育成	○アンケートで「高島が好きだ」と回答する児童を70%以上にする。	・年に2回以上アンケートを実施する。 ・教員一人一人が年に1度、高島の話題を教材に取り入れた授業を行う。	A	・アンケートで「高島のことが好きだ」の項目について、「そう思う」「大体そう思う」と回答した児童が約90%だった。	A	・アンケートで「高島のことが好きだ」の項目について、「そう思う」「大体そう思う」と回答した児童が100%だった。	A	・高島のことを好きな児童が多くて嬉しい。

<b>5 総合評価・次年度への展望</b>	<p>●…果共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p> <p>・最終評価はおおむね「A：十分達成できている」との達成度（評価）であった。</p> <p>・今年度は校内研究の成果で、高島を愛する児童の育成ができた。</p> <p>・児童は生活習慣に気を付け、自分も仲間も大切にすることで、安全安心な学校生活が送れている。</p> <p>・今年度も、地域の方の協力を得て多くの体験活動を実施することができた。島の活性化の一助となるよう、今後も、高島ならではの特色ある学校づくりを推進していく。</p>
-----------------------	--